# 岐阜新聞真学塾

出題　螢雪ゼミナール
則武校・舩橋巧

全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

問題【英語】

今回は、英単語を使ったパズルを解いてみましょう。下の日本語と同じ意味の英単語になるように、下線部にアルファベットを入れてください。ただし、同じ番号のところには同じアルファベットが入ります。

おもしろい…f u ＿ ＿ y
　　1 1

おもしろい…＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿ ＿
　　2 1 3 4 5 4 6 3 2 1 7

おもい…f ＿ ＿ l ＿ ＿ ＿
　　4 4 2 1 7

おもい…h ＿ ＿ v y
　　4 8

しろ…w h ＿ ＿ ＿
　　2 3 4

しろ…c ＿ ＿ ＿ l ＿
　　8 6 3 4

## 豆知識 雑学コラム　「おもしろい」が第一歩

今回のパズルでは、下線の番号順にやっていくと２から急激に難しくなったのではないでしょうか。分かりやすいのは下線の少ない単語ですので、番号順ではなく分かりやすい順にうめていきましょう。

さて、今回の盤面は、「おもしろい」が二つ、「おもい」が二つ、「しろ」が二つ、という形にしてみました。「おもい」はそれぞれ「思い」と「重い」、「しろ」はそれぞれ「白」と「城」のように同音異義語です。しかし、二つの「おもしろい」は日本語ではどちらも「面白い」と、同じ言葉になってしまいます。しかし、二つの単語には使い方に大きな違いがあるのです。（以下、答えとなる内容が含まれます）。

二つの単語の違いは、日本語の「面白い」の違いから探ると分かりやすいです。下の２文において、「面白い」の意味は同じでしょうか。

（A）面白い先生に出会った。
（B）面白い学問に出会った。

ほとんどの方が、この二つは違うと思うでしょう。（A）の「面白い」は「面白おかしい」といったような意味ですね。このような「おもしろい」は funny で表します。一方で、（B）の「面白い」は「興味深い」といったような意味で使っていますね。こちらの「おもしろい」がinteresting です。

遊びでも、スポーツでも、勉強でも、まず「面白い」と思うことが大事です。その「面白い」は、最初は funny の方でも構いません。続けていって段々とできるようになれば、表面的な funny の方の面白さが、いつしかより深い interesting の方に変わっていきます。英語だったら、まずはパズルや笑い話、自分の興味のある話など、取り組みやすく funny に思うところから始めてみましょう。

【解答】
1…n　2…i　3…t　4…e
5…r　6…s　7…g　8…a